

日本鉄鋼協会記事

第8回理事会 日時：11月13日 17・00 開会。場所：協会々議室。出席者：三島会長ほか21名。

報告事項 I. 第9回編集委員会に関する件。II. 第8回企画委員会に関する件。III. 第7回研究委員会に関する件。IV. 第2回資料委員会に関する件。V. 第66回講演大会および臨時総会に関する件。VI. 訪英鉄鋼視察団準備会に関する件。VII. 50周年記念事業委員会に関する件。VIII. 共同研究会第2回運営委員会に関する件。IX. 北海道、関西、北陸、九州各支部に支部補助金交付の件。X. 北海道、東北、北陸各支部に渡辺記念講演会開催資金交付の件。XI. クリーブ研究組合に関する件。

協議事項 I. 第4回東洋レーヨン科学技術賞候補者および科学技術研究助成金候補者推薦の件。II. 昭和39年度事業計画および予算編成準備について。III. 10月中入退会その他会員異動の件。IV. 10月中収支決算に関する件。

第9回編集委員会 日時：11月6日 17・00 開会。場所：協会々議室。出席者：佐藤理事ほか21名。

報告事項 I. 会誌第9号（製鉄部会報告書）の別冊“各製鉄所における製鉄設備の展望”完成について。II. 会誌第11号（10月号）の完成および第12号（11月号）完成予定について。III. 会誌第50年第1号論文追加掲載について

協議事項 I. 会誌第11号の講評。II. 寄稿論文の審査。III. 会誌第50年第2号（2月号）掲載論文の選定。

第8回企画委員会 日時：11月12日 17・00 開会。場所：協会々議室。出席者：伊木副会長ほか15名。

報告事項 I. 第66回講演大会および臨時総会に関する件。II. 訪英鉄鋼視察団準備会に関する件。III. 50周年記念事業準備委員会に関する件。IV. 第10回大河内賞受賞候補者推薦書提出の件。

協議事項 I. 第4回東洋レーヨン科学技術賞および科学技術研究助成金候補者推薦の件。II. 日本映画技術協会賞候補者推薦の件。III. 昭和39年度事業計画および予算編成準備について。

第7回研究委員会 日時：11月8日 16・00 開会。場所：協会々議室。出席者：村田理事ほか14名。

協議事項 I. 鉄鋼の基礎研究について。II. 鉄鋼設備共同研究体制について。III. 関連産業学協会との共同研究体制について。IV. 国内炭コークス化試験について。V. 来春講演大会について。VI. 昭和39年度研究計画について

昭和39年秋季講演大会開催地の決定 明年度秋季講演大会は日本金属学会と連合の下に、10月初旬富山市富山大学内において開催のことに決定した。

支 部 記 事

北海道支部

秋季講演会 11月8、9日の両日札幌市北海道大学において日本金属学会北海道支部と合同で開催した。

渡辺記念講演会 11月8日北海道大学工学部において開催、つぎの講演が行なわれた。

鉄鋼用耐火物のすう勢について 品川白煉化株式会社専務取締役 毛利定男

東北支部

渡辺記念講演会 11月22日東北大学工学部において開催、つぎの講演が行なわれた。

最近の鉄鋼生産技術における2、3の趨勢について 八幡製鉄株式会社副社長 湯川正夫

北陸支部

北陸信越地方講演会 11月21日高岡市富山大学工学部において日本金属学会北陸信越支部と合同で開催した。

- | | | |
|---|------------|-------------------|
| 講演 1. 溶鋼の脱クロームについて | 富山大学工学部 | 森棟隆弘・○佐藤恭一・平沢良介 |
| 2. 亜鉛合金の化学研磨法 | 日本曹達研究所 | 小田伸彬・○森岡長治・牧野芳夫 |
| 3. Al およびその合金の結晶粒度におよぼす加熱速度の影響 | 富山大学工学部 | 室町繁雄・○品川不二雄 |
| 4. 土砂磨耗について | 小松製作所栗津 | ○増村 慎 |
| 5. Al-Zn-Mg 合金板について | 北陸軽金属 | 池野高志・柴田喜三・大岡 修 |
| 6. 溶融鉛メッキにおける鉄板の焼鈍効果と炭素含有量の影響 | 金沢大学工学部 | 関 文男・○上田益造・湯川 守 |
| 7. 純鉄の脱酸試験 | 日本鋼管富山 | ○山岸一雄 |
| 8. 高速度鋼溶接部の顕微鏡組織について | (株)不二越 | 近藤正男・○関口定治 |
| 9. 化学的腐食法による軸受鋼焼戻し程度の判定法について | (株)不二越 | 大沢真澄・永田 寛・○沓掛栄一 |
| 10. 微量の塩化物を含む高温水によるオーステナイトステンレス鋼の応力腐食割れについて | 日本ステンレス直江津 | 斎藤弥太郎・田島 耕・○西山平八郎 |
| 11. 12 Cr 鋼の機械的性質についての基礎研究第(第1報) | 日本ステンレス直江津 | 斎藤弥太郎・伊藤直也・○吉野睦栄 |

- 12. 18 Cr 鋼薄板の深絞り性と各種機械試験値との相関性について (第1報)
日本ステンレス直江津 斉藤弥太郎・清水敏治・○沖田春一・鋸屋正喜
- 13. 18-8 ステンレス鋼薄板の方向性についてのR値と導磁率との関係 (第1報)
日本ステンレス直江津 斉藤弥太郎・清水敏治・沖田春一・鋸屋正喜
- 14. 電解硫化処理について (株)不二越 若林幸雄・○森田四郎
- 14. 電気炉除塵装置について 富山製鉄所 村山 彬・山本隆夫・○岡田良一
- 16. 多種試料の統一定量分光分析 (第2報) 日本曹達研究所 小田伸彬・井戸原満・○大利政夫
- 17. キレート法による MgO-FeO-Al₂O₃-CaO 鐘滓の連けい分析法
日本鋼管富山 ○矢後耕次・三箇清二
日本曹達理化学研究所長 小田伸彬

(特別講演) 生産工場分析における諸問題

見学 田中精密(株)(富山), 吉田工業(株)(黒部), 日本製鉄三日市工場(黒部)
関西支部

関西鉄鋼技術研究会製鋼研究会 10月4日富士製鉄広畑製鉄所において開催した。

講演 1. 製鋼用スラグについて 大阪大学工学部助教授 荻野和己
2. 溶鋼鋼滓中の水素に関する2, 3の研究 川崎製鉄技術研究所 大井浩

見学 富士製鉄広畑製鉄所

11月例会 11月16日次の通り開催

見学 松下電子工業株式会社

講演 (会場 大阪大学工学部メモリアル・ホール)

1. 軽金属研究における問題点 京都大学名誉教授 西村秀雄
2. マルテンサイト変態の問題点 大阪大学教授 西山善次

中国四国支部

講演および見学会 11月21日, 22日の両日日本金属学会中国四国支部と共催で松山市において開催。

講演 1. 鋼材の最近の溶接 名古屋大学教授 関口春次郎
2. 欧州におけるプレス加工 新三菱重工水島自動車製作所技師 熊沢猛彦

見学 1. 丸善石油松山製油所 2. 井関農機株式会社

新入会会員名氏
(昭和38年10月1日~10月31日)

維推会員		正会員		学生会員	
第一製鋼株式会社	1口	川崎製鉄(株)技術研究所	中尾敦輔	日立金属工業(株)安来工場	
荻原邦夫	〃	〃	吉添澄男	〃	〃
松本敏夫	〃	千葉製鉄所	渡辺力蔵	〃	〃
歌橋千之	〃	〃	松下達郎	日本特殊鋼(株)	
小原誠	〃	〃	宮原高行	〃	
大門森尚	〃	〃	新粥武夫	東京大学生産技術研究所	
嶋田好弘	〃	〃	山村武浩	〃 千葉実験場	
関崎義尚	〃	〃	福岡浩弘	日新製鋼(株)周南工場	
内藤雅夫	〃	〃	吉野信	〃	
長野雅金	〃	〃	城戸英彦	八幡製鉄(株)堺製鉄所	
養野金宏	〃	〃	阿部山尚	〃 東京研究所	
本町高道	〃	〃	大吉馨	関東製鋼(株)渋谷工場	
柳沢高道	〃	〃	岸本誠行	オリンパス光学工業(株)諏訪工場	
押滝博司	〃	〃	桑原敏重	九州大学工学部鉄鋼冶金学教室	
石丸義一	〃	〃	宗官重行	新三菱重工(株)神戸造船所	
太田竹彦	〃	〃	玉井敏之	東京工業大学工業材料研究所	
北村義章	〃	〃	永井兵吉	大阪熱工(株)	
芝信平	〃	〃	森下定	日本ステンレス(株)直江津製造所	
後藤彦彦	〃	〃	山寄田	(株)日立製作所勝田工場	
山田義美	〃	〃	安藤仁人	品川白煉瓦(株)相模工場	
久保義隆	〃	〃	伊子昌俊	〃 守山工場	
笹井隆之	〃	〃	石松義朗	学生会員	
				熊本大学工学部金属工学科	
				〃	〃
				〃	〃
				〃	〃

市野守捷	熊本大学工学部金属工学科	西山口英喜	熊本大学工学部金属工学科
岡崎利昭	〃	樋口建市	〃
大久保直治	〃	藤本輝弘	〃
川崎子勝	〃	福田弘秀	〃
金河野憲	〃	星子秀一郎	〃
河木許祐	〃	松浦弘三	〃
倉岡三勇	〃	三丸文正	〃
酒坂井口	〃	三浦原政	〃
坂口広昌	〃	光永一	〃
塩見敦史	〃	森山信次	〃
須藤洋右	〃	大佐々木	〃
田村浩隆	〃	坂本和	秋田大学鉱山学部冶金科
堤隆人	〃	穴吹貢	九州大学工学部冶金科
土屋康義	〃	川西宏	千葉工大金属科
頼田英	〃	加藤誠	名古屋工業大学電気工学科
中村達夫	〃		

日 本 工 学 会

講 演 と 映 画 の 会 の お 知 ら せ

下記の通り講演会、映画の会を催しますので奮ってご来聴下さい。

記

日 時 昭和39年1月28日(火) 14:00~16:00
 演 題 最近の交通計画
 東京大学土木学科教授 八十島義之助
 これに関する映画を同時上映します。
 定 員 200名
 会 場 日本化学会講堂(東京都千代田区神田駿河台1の5)

第 8 回 見 学 会 開 催 の お 知 ら せ

日本工学会主催で下記により見学会を催しますので、ご希望の方は奮ってご参加下さいますようご案内いたします。

記

日 時 昭和39年2月27日(木) 14:00~16:00
 見学先 八幡製鉄東京研究所(川崎市井田1618)
 定 員 100名 先着順に参加証をお届けします。
 集 合 14:00時までに見学先正門に集合のこと。
 (東横線日吉駅慶応と反対側に下車, 下田住宅行バスにて駒ヶ橋下車, 右へ徒歩約3分)
 申入先 はがきに第8回見学会申込と書き, 住所, 氏名, 所属学会名を記入, 2月15日まで直接
 日本工学会(東京都千代田区神田佐久間町1-11 電話 251-4358)あて申込むこと。